



こむこむ

2009年初夏号

発行:筑波大学OB・OG愛好会 編集:小泉成行(自然98年入学) 2009年6月12日発行

愛好会 35周年に向けて

今、オリエンテーリング界全体の競技者・愛好者人口が減っている。参加者が1000人を超える大会はほとんど見られなくなった。重要な愛好家の供給源であった大学クラブへの入会者が減っていることがオリエンテーリング界全体の縮小傾向の要因であると分析する人は少なくない。昨年度の春インカレでは600人を切るほどに減っている。

オリエンテーリングに限らず部活やサークルに入る大学生が少ない、という話が新聞など報道されることがある。携帯電話などの普及や長かったバブル後の不況の影響で学生自身が負担する生活費の工面に追われお金のかかるサークル活動に入らなくなった、という人もいれば個人主義が強まり他人とのつながりを求めたがらない傾向にある、という人もいる。いずれにしても社会環境も含めた大学オリエンテーリング界全体の環境の変化は私たちの母校である筑波大学オリエンテーリング愛好会にも起きている。

かつては100人以上が在籍し、顔くらいしか知らない人がいて、体サに行くと必ず誰かがいた、そんな愛好会の様子を懐かしい思い出として心にとどめるOB・OGも多いだろう。

しかし現在の会員は13名。4年生5名、3年生3名、2年生1名、1年生は5月の段階で4名。女子は3・4年の3名のみ。1人でも欠員が出れば、インカレ団体戦にさえ出場できない。筑波大大会の開催は白紙状態。数年前から新入会員の人数が二桁に乗らなくなった。

これにもいくつかの影響が原因として考えられている。かつて激しい勧誘合戦が行われていた宿舎の夜回り勧誘が防犯上の理由により禁止するよう大学から通達があった。知名度の低いオリエンテーリングでは、宿舎周りでの勧誘が重要であったことは卒業生である私たちはよくわかっていることだがその重要な勧誘場所が絶たれた。

また2005年8月に開通したつくばエクスプレスによって東京・埼玉・千葉などから自宅通学する学生も増えている。宿舎に入らないで大学周辺のアパートに入る学生も以前より増加しており、入学する学生の半分程度しか宿舎に入っていないのだという(学生談)。

そういったつくば特有の環境にもいくつかの変化があり、愛好会の会員は減少、例年新歓の落ち着く6月に入っても勧誘活動を行っている。体サの窓には大きくオリエンテーリングをアピールする文字が貼られている。やどかり祭後には豪華商品を用意しての学内イベントを用意し、サークルを再考する学生の勧誘を企画しているという。2学期に入っても夏休み中に変化のあった学生を募集するのだという。

卒業生であれば、私たちの故郷といってもよい愛好会がいつまでも続くことを願うだろう。OB・OG会としても、愛好会存続のためであれば、現役学生に手を差し伸べたいと思う。愛好会の危機さえも支えることの出来ないOB・OG会はその意義を問われる。OB・OG会が前面に出て愛好会内で活動することはありえないが、彼らが必要とすることには人的、知的、経済的支援を積極的に行いたいと考えている。

現役学生には過去の慣わしに縛られることなく、今の時代にあった愛好会を作っていくことを願いたい。

そして私たちOB・OGは新しい時代を生き抜こうとする愛好会が今後どんなクラブになっていこうとも、それがあつべき姿であるならば、過去と比較することなく温かく見守る姿勢も必要ではないだろうか。

なによりもいろんな世代との交流によって新しい知恵が生まれ、絆が広がる。夏合宿やインカレなどで、OB・OGから彼らに応援のメッセージを直接届けることが愛好会にとってはなによりも心強いものになるだろう。来年迎える35周年に向けて、OB・OG会でも現役学生とも協力し、愛好会の新しいカタチを支えられる体制を用意したい。

みなさん、もう一度オリエンテーリングを楽しんでみませんか。



世話人代表 小泉 成行

足柄インカレ2008

2008年度の春インカレ(ミドル・団体戦)が2009年3月20,21日に開催されました。今年は全日本大会との共催でいつもより2週間遅い春分の日の連休での開催。舞台となったのは神奈川県南足柄市、旧マップ名「大雄の鉄人」の範囲です。

ミドル競技では男女4名がA決勝へ進出しました。残念ながら入賞者は出ませんでした。参加した選手はみな健闘しました。

翌日の団体戦。男女ともリレー初体験の3人での出場、昨年を引き続きの入賞を目指してスタートしました。

男子は1走石松・2走下嶋と快走をみせ、入賞圏内で3走エースの神谷に継走しました。神谷選手はさらに2人を上回るトップレベルのエースらしい走りを見せ、昨年を上回る5位でのゴールを果たしました。しかし、ゴール後、パンチの記録が残っていないことから失格となってしまう、団体戦では初めての失格となってしまいました。

女子は1走白形・2走常住ともやや遅れ、6位まで10分差の8位で3走山本にタッチ。上位が混戦になる中、山本選手が会心の走りで順位を大きく上げ、4位でゴール。2005年度愛知インカレからの4年連続の入賞を果たしました。

男子団体戦は名古屋大学が序盤から独走し、2年連続の優勝、女子団体戦は3走で15分差を逆転した東北大が初優勝しました。

リレーを走った2人からコメントをいただきましたので紹介します。2人ともこむこむ初登場！



石松純さん

もっとも影響を受けた昨年度の4年生の方々が抜けて、いささか会も寂しくなっていた一年前、特に目標も、オフィシャルも定めずに(個人では在ったかもしれないが、団体では)今回のインカレリレーを迎えた。実は出会ってから3年、今回のリレーメンバーではインカレを走った事も無く、1ヶ月前の関東リレーまで3人で走った事のないという豪胆かつ無謀なメンバーだった。

実際にリレーを経験して、走りそのものについては思ったよりもやれたと思う。以前に話した時、現実的にどのあたりだろうか？と予想し、直前に目標は6位と決めていた。癖の強い3人だが、走順や各々の役割自体は巧く機能していたと思う。だから、スペック上目標とした順位は満たせていた。そうならなかったのは1人の責任というよりも、それがリレーだったからで、僕らの弱い所が突かれたのだと思う。

オリエンは個人競技で、孤独に自分の判断を信じ、励ますものも無い森の中で走り続けなくてはならない。そこには、他のスポーツのようにチームも絆も必要とはされていない。

必要とされているとすれば、それはともすれば馴れ合いにも繋がる、頑張るための糧としてだ。今回走った3人は、そういう意味で馴れ合わず、個々がオリエンを楽しんでいるという意味では、オリエンに向いているし非常に強かったと思う。けれど、リレーになった時に感じるのは、信頼関係の欠如だった。お互いにそのオリエン技術については知っているし、信頼している。ただ、それ以上ではなかった。同一の目標を定めてやってきたわけではないし、意気込みにもズレがある。何も無ければそれでもいいし、実際にそうになっていたとしたら僕達は5位になっていたはずだ。でも、何か一つ手違いが起こったとき、技術以外の何かを求められた時、あのチームはそれを5秒の差から、ペナルティへと広がる波紋を止める精神的な支柱を持たなかった。

「俺について来い」的なリーダーシップを発揮する人も、団体戦について自分のわがままを通す人もいないのは、別にそれが自分達のスタイルならそれでもいい。ただ、自分はそれがそれぞれを尊重するという名の臆病心だったと思う。だからこそ団体目標も出なかった。我を通した関わり合いの中で比較しあい、自分が造ったミスで傷つくのが嫌なのだ。

最後の1年、人の少なくなるなか、もうそれほど始められる事もないが、この点は改善できると考えている。人数も減りどうなるのか分からないが、自分「達」がオリエンをする上で、課題だと感じる1点だ。それはきっと、愛好会としてオリエンテリングを楽しんだ記憶を、何年も後になってから思い返した時の、そのイメージをガラッと変えると思う。

(当時3年生、今年の4年生)



常住紗織さん

今年のインカレリレーに、女子チームは昨年度2位のメンバーが全員抜けた新規メンバーで臨みました。昨年4月に立てた3位入賞という目標に向け、3人で1年間、団結して頑張ってきました。

本番では、1走の白形さんが、前日のミドルで足を怪我したにも関わらず、強い精神力で箱根の斜面を走り抜け、ミスを抑えて帰ってきて下さり、3走の山本が俊足をこごとと発揮して4人ほどごぼう抜きしてくれました。当初の目標には届かなかったものの、怪我やミスを乗り越え4位で表彰台に上ることができたことが、とても嬉しかったです。

今年は、女子でリレーを走れるよう、とにかく新入生を会に入れられるよう頑張ります。そして、走るからにはまた表彰台を狙いたいです。今年も応援よろしくお願ひします。

(当時3年生、今年の4年生)

足柄インカレ2008 結果

ミドル男子選手権決勝 - 3300m 160m

1	太田貴大	0:31:09	東北4
2	日下雅広	0:31:11	東北4
3	片岡裕太郎	0:32:34	名古屋3
25	下嶋健太	0:41:45	筑波3
34	石松純	0:51:12	筑波3
36	神谷泰介	0:53:33	筑波3

ミドル女子選手権決勝 -2500m 110m

1	松永真澄	0:31:43	日本女子4
2	阿部ゆかり	0:32:55	東北4
3	青山由希菜	0:36:27	椛山4
13	白形由貴	0:51:15	筑波4

団体戦男子選手権

1	名古屋大学	2:20:21	
2	新潟大学	2:33:29	
3	東北大学	2:36:41	
-	筑波大学	DISQ	石松-下嶋-神谷

団体戦女子選手権

1	東北大学	3:03:06	
2	椛山女学園	3:06:18	
3	日本女子大	3:11:46	
4	筑波大学	3:33:22	白形-常住-山本



今年も日本代表に愛好会出身者が続々決定

2009年の夏も世界の舞台で愛好会出身者が活躍します。春に各地で開催された各種目の日本代表選手選考が行われ、愛好会出身者からはフットOの世界選手権(WOC、ハンガリー)に渡辺円香さん(94年比文)、4年に1度のワールドゲームズ(WG、台湾)に小泉成行さん(98年自然)、MTB-O世界選手権(イスラエル)に多田宗弘さん(93年情報)の3名が選出されました。各選手からコメントをいただきましたので紹介します。(多田さんのコメントは次の記事で紹介します)。

O・B・O・G会では各選手を応援するため有志での遠征支援金を募集いたします。賛同していただけるみなさまのご応募をお待ちしております。ご応募方法は下記の通りです。

日本代表遠征支援金へのご応募方法

O・B・O・G会事務局宛に以下の情報をEメールにてお知らせください。

送信先: comcom.tsukuba@gmail.com (事務局)

内容: お名前 お振込み名義 ご応募金額 コメント(特定選手への支援などの希望があればお知らせください。)

上記のメールにてお知らせいただいた金額を下記銀行口座へお知らせください。

7月30日までを締め切りとさせていただきます。

なおO・B・O・G会賛同金受付と同じ口座になりますので大変恐縮ですが支援金へのご応募の旨を必ずご連絡ください。

常陽銀行: 研究学園都市支店(店番104) 普通 1929141 口座名: 小泉 成行(コイズミ シゲユキ)

小泉成行(自然98) WG代表

WGはオリンピックを目指すスポーツの祭典です。オリエンテーリングは01年の秋田大会から正式種目となりました。秋田大会では愛好会からは加賀屋博文さん・塩田美佐さんが出場しているので記憶に残っている方も多いでしょう。

各大陸のランキング上位国からトップ選手しか出場できないWG。WOCよりもハイレベルなレースが予想されますが、地元アジア枠での出場ですので、これまでの経験を十分に活かして走ってきたいと思います。ヨーロッパ勢以外には負けたくないです。

開催地・台湾高雄ではテレビ放送もあり、かなり注目されるそうです。また普段の大会と違い他のスポーツ(それも境遇がオリエンテーリングと似ている)のトップ選手も集まるということであるいろいろな楽しみな大会です。

応援よろしくお願いします！



渡辺(小暮)円香(比文94) WOC代表

今年も8月16日から23日までハンガリーで開催される世界選手権へ出場することになりました。

今現在出場種目は未定ですが、一昨年、昨年の経験で学んだことをフルで生かして、ベストな走りができるよう準備をしています。

昨秋からトレーニング方法を少々変えました。下半身、特に臀部周りの筋力強化と、疲労を残さない程良い質を心がけています。その成果は怪我、不調も無く、フィジカル面向上に実感があります。しかしまだまだメンタル面で弱い事例が多いので、夏までに心のシミュレーションと、短期集中型スピードトレーニングに今後は邁進したいと思っています。

日本チームも世代交代が行われておりますが、まだ私は最年長ではありません。。。若い力の台頭を期待すると共に、今後、何かしらを引っ張っていきけるような術を世界選手権に向けた、対する自分の中から引き出していきたいと思います。

OBOGの皆様のご注目とご声援を何卒宜しくお願いします。



新しいオリエンテーリングにチャレンジしてみませんか？ スキー-OとMTB-Oの魅力に迫る

2009年3月、北海道でスキー・オリエンテーリング(スキー-O)の世界選手権が開催されました。世界各国から代表選手が集まり、雪上で熱戦を繰り広げた舞台に昨夏のフットOの世界選手権日本代表でもある 高橋善徳さん(96年入学自然)が出場しました。

また前の記事でも紹介しましたが、昨年に引き続き、多田宗弘さんがMTB-Oの日本代表として出場します。多田さんは今やMTB-Oの日本のエースとしてチームを引っ張っています。

最近オリエンテーリングしてないなあ、もっと刺激がほしいなあ、というそのあなたのために、お二人からそれぞれの種目の魅力や大会のレポートをいただきました。新しいオリエンテーリングにチャレンジしてみませんか？

多田宗弘(情報93) MTB-O日本代表

今年もマウンテンバイクオリエンテーリング(以下MTB-O)の日本代表として、世界に挑戦することになりました。応援よろしくお願いします。今年は8月9日～16日、場所はイスラエルです。

MTB-Oはその名のごとく、マウンテンバイクで行うオリエンテーリングです。フットオリエンテーリングとの違いは、
・道以外に入ってはいけない(ローカルルールでOKの時もある)

- ・デフが無い。コントロールは全部道の上。
- ・地図表現がだいぶ違う。植生は2段階、道は「走行しやすさ」で3段階(舗装道は別 実質4段階)です。

昨年のポーランドでは、曰くつきではあったものの日本人男子で初めてロング予選を通過し、決勝の舞台に立つことが出来ました。

3ヒート制で通過ラインが各20位。自分はAヒート24位だったのですが、このAヒートだけ異常にレベルが高かった(トップのタイムはほぼ同じなのに、Aヒート20位は他のヒートの11位相当)

救済措置がとられ、Aヒートのみ25位まで通過

予選通過となりました。(ちなみに自分のタイムは、他のヒートだと15～17位相当でした)

ただ、決勝での結果がかなりひどい内容だったので、悔しさだけが残りました。

今年は予選を堂々と通過した上で、決勝でも上位に進むことができるよう、がんばります。

また、参加国数が例年より少ないらしいので、ミドル・スプリントで10番台に入れるよう、日々努力しています。

応援、よろしくお願いします。



スキーオリエンテーリング世界選手権大会に参加して

自然学類 96年入学 高橋善徳

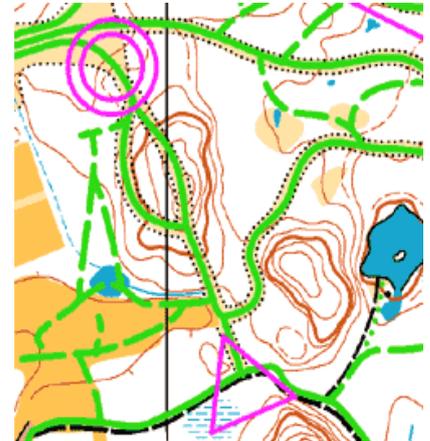
突然ですが、スキーオリエンテーリング(以下スキーO)という競技をご存じでしょうか？スキーOはフットオリエンテーリング(以下フットO)(私たちが愛好会で行っていたのはフットOです)よりも歴史が古く1800年代には既に大会が行われていたそうです。文字通りスキーを使って雪上で行うオリエンテーリングで、普通のオリエンテーリングよりもよりスピーディーでエキサイティングなレースが可能です。世界選手権大会の報告ということですがスキーOを紹介させて下さい。



(1) スキーOとフットOの違い

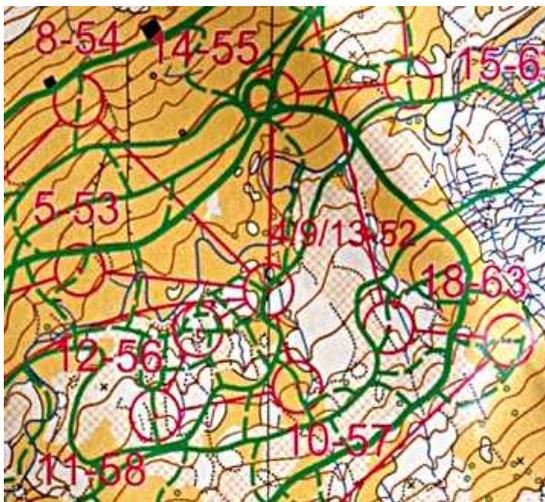
地図について

基本的にはフットOの地図と変わりありませんが、雪が積もると道が隠れてしまいますからスキーOでは大型圧雪機やスノーモービルなどを使って新たに多くの道を付け足します。それが地図の緑色の道になります。緑色の線の太さによって、滑りやすさも異なります。太い実線が一番滑りやすくスピードが上がります。逆に点線は狭い道で特に登りはスピードが上がりにくいです。一瞬の判断でどの道が滑りやすいのか、登りが少ないかなどを判断してルートチョイスをして進みます。



コースについて

一見すると、スキーOは道走りばかりでつまらないのではないかなと思う方もいらっしゃるかもしれませんが、スキーOではクロスカンリースキーというスキーを利用して進みます。冬期オリンピックで荻原兄弟が滑っていた距離スキーを思い出していただくと良いかと思います。スキーですから登りはしんどいですが、下りは楽ちんにすすむことが出来ます。スキーの操作に慣れてくれば下りでは1キロあたり2分くらいのスピードは簡単に出来るようになってくるので、コースもそれなりに長くなり、フットO以上にダイナミックなルートチョイスが課題になってきます。また、早いスピードでスキーをコントロールしながら行うナビゲーションはフットOでは体験できない非常にエキサイティングなものです。



【左:細かいネット状の道はさながら迷路】



【右:アルプスの山々をバックに滑る】

必要な道具

スキーOを初めてみたい方は、まずクロスカントリースキーの道具を手に入れる必要がありますが、専門の道具を売っているお店はなかなかありません。確実なのはスキーOの経験者に紹介してもらうか富士スポーツさんに問い合わせると良いと思います。道具はどれも高価ですが、一度購入してしまえばあとはワックス代くらいしか掛かりません。最も確実で安価な方法はスキーの経験者に道具を譲ってもらうことです。ある程度の経験者はスキーを何台か所有していて、使用していないスキーもありますからかなりの確率で譲ってもらえると思います。かく言う私も全く使っていないスキーが2台あります。10年前に購入したスキーですが、初心者の方が使うには全く問題ありません。

富士スポーツURL <http://store.shopping.yahoo.co.jp/fujisports/index.html>

スキーO研究会のHP <http://www.skio.jp/>

(2) スキーOの魅力

スキーOの魅力はなんといっても雄大な雪景色の中を滑れる爽快感です。イバラに覆われた藪もぬかるんだ湿地帯も雪が積もってしまえば気持ちのよい雪原に早変わりです。キーンと冷え込み、空気の澄んだその雪原を地図とコンパスだけで駆け回る。時々うさぎやきつねの足跡を発見することもあります。自然の中に飛び込んで自然と一体になる競技、それがスキーOです。

もちろん、オリエンテーリングですからナビゲーションも魅力の一つです。どのルートを通ったら早いのか、斜面は降りられるのか、登れるのか。そういった想像をしながら進む楽しみもあります。

スキーOの難しさは一言でいえば「刻々と変わる自然環境への対応」です。気温や湿度によって雪面の状態は異なりますから、当然スキーに塗るワックスも変わってきます。10m滑ったときに他のスキーよりも10cm余計に滑れば、10キロのレースでは100mも余計に滑れる、つまりそれだけ楽に他の選手よりも早く滑ることが出来ます。スタート時間によって天候が変化する場合もあります。そういった自然環境への対応力もスキーOの難しさであり、魅力の一つでもあります。



【雪原を走り回るという醍醐味】



【世界選手権ロングでの高橋】

愛好会ではこれまで小林岳人さん、元木悟さん、若井広太郎さんが日本代表選手として世界選手権に出場してきました。私は今回初めて世界選手権に参戦したわけですが、フットOの世界選手権よりも参加者が少なく、アットホームな雰囲気を感じました。今回は北海道の留寿都村で大会が行われ19カ国の国々から133名の選手達が集まり熱い戦いを繰り広げました。私はロング、ミドル、スプリント、リレーと全ての種目に出場して38位、43位、46位、8位という成績でした。リレーでは入賞も狙える位置までいくことができ、これからの日本チームの可能性を感じる事が出来ました。

スキーOは主に北海道、東北地方、北陸、長野等で行われています。フットOがあまり盛んではないこれらの地方ですが、雪に閉ざされてしまう冬のシーズンは逆にスキーOが盛んです。クロスカントリースキーは全身運動で子どもからシニアの方までどなたでも楽しく身体を動かすことが出来る理想的なスポーツでランニングよりも膝への負担が少なく、怪我の心配もありません。冬をもっと楽しむために、またオリエンテーリングをさらに楽しむためにスキーOに挑戦してみませんか？

報告というより宣伝になってしまいましたが、世界選手権の報告を終わります。

愛好会夏合宿 8月～日 日光にて開催

日程:2009年8月6日(木)～9日(日) 場所:栃木県日光市

6日 パリ0(毘沙門山), 7日 観光, 8日 筑波杯(日光口), 9日 常陸野杯(不動の滝)

宿泊:ホテルファミテック

担当:日暮(3年)、OB・OGの申込受付:坂岡(資源04年)s0821048@u.tsukuba.ac.jp

最近では長野・静岡・山梨で循環する傾向にあった夏合宿ですが、今年は日光で開催することになりました。愛好会関係者にはもうお馴染みの場所ですが、ゆっくり過ごされた方は多くないのではないのでしょうか。例年通り、筑波杯・大コンパ・常陸野杯も予定しております。ぜひ皆さま、お誘いあわせの上、ご参加ください。近日に要項が作成される予定ということですので、その際にはMLにてご連絡致します。現段階で参加を希望される方は、坂岡までご連絡ください。

OB・OG総会 開催のお知らせはML・ウェブにて

毎年筑波大大会での開催が恒例になっておりますOB・OG総会ですが、今年は筑波大大会の開催が決定していないためお知らせすることができません。冒頭でもお知らせしたとおり、現状では開催はなかなか厳しい状態ですが、開催の運びとなれば例年通り大会会場での開催を、大会の開催が見送られた場合は、11月22日(日)に開催予定のインカレロング(矢板)会場での開催を予定しています。詳細は愛好会MLやこむこむオンラインでお知らせします。

OB・OG会 賛同金募集

OB会の活動は賛同金の収入により支えられております。当OB会の活動に賛同くださる方は、賛同金(年:1,000円)へぜひご応募ください。

賛同金は下記郵便振替・銀行口座へお振込みいただくか、または大会会場等で役員に直接お支払いください。

なお大変恐縮ですが、振込手数料はご負担いただけますようお願い申し上げます。

またお手数をおかけいたしますが、お振込み後 下記事務局へご連絡いただけますと助かります。

ゆうちょ銀行:口座番号:00130 - 4 - 112794 加入者名:筑波大OB愛好会

常陽銀行:研究学園都市支店(店番104) 普通 1929141 口座名:小泉 成行(コイズミ シゲユキ)

夫婦会員は原則1名分での賛同金受付となります。

編集後記

2期目最後の1年となりました。愛好会やオリエンテーリングの現状を皆様へお知らせできる環境を整えようと、こむこむなどを通じてコツコツと続けています。そしてそれに対するご協力や応援はとても励みになりました。これまでは明るい話題を伝えるようにしてきましたが、存続がぎりぎりのところでがんばっている愛好会の現状を、みなさまにはお伝えしたほうがよいだろうと判断し、今回は巻頭にてそのことに触れました。OB・OGとして協力できる場所は協力したい、そういう気持ちは皆さんお持ちだと思います。ぜひまずは愛好会の現役学生に応援や励ましの言葉をかけるところからお願いします。そこから私たちが何かできることが見つかるかもしれません。

またこむこむオンライン(<http://www.orienteering.com/~comcom>)では随時情報をお届けしていますのでぜひチェックしてください。みなさまのご意見・ご感想をお待ちしております。

お問合せ先:筑波大学オリエンテーリング愛好会に参加した人たちの会

〒270-0164 千葉県流山市流山5-2-301 小泉成行気付

電話:04-7150-1844(留守電あり) E-MAIL:comcom.tsukuba@gmail.com

こむこむオンライン:<http://www.orienteering.com/~comcom>